

アクアイグニス仙台

温泉掘削 29日開始

東日本大震災に伴う仙台市の防災集団移転跡地の利活用事業で、建設業の深松組（青葉区）が若林区藤塚

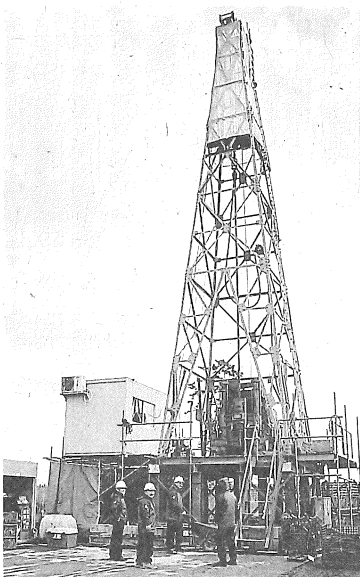
地区に整備する複合施設「アクアイグニス仙台（仮称）」の温泉掘削工事が29日に始まる。24日は現地で安全祈願祭があり、関係者が工事の成功を祈った。

地元の町内会長や同社関係者ら約40人が出席。神事後、深松努社長は「施設が憩いの場になるといい。にぎわいをつくり、地区を再生させたい」と語った。

掘削工事は6月末ごろまで東北ボーリング（若林区）が実施し、地下1000メートルまで掘り進む。アクアイグ

ニス仙台は温泉、農園、レストランの複合施設。温泉棟は2階建てで高さ15メートルを確保し、津波発生時は避難場所として利用する。

2021年11月の完成、22年4月のオープンを予定する。同社などが設立した「仙台reborn」（青葉区）が運営し、主婦ら約210人を地元雇用する。



温泉掘削工場のやぐらが立つ整備予定地

深松組・仙台「reborn」アクアイグニス仙台「安全祈願祭

源泉掘削工事が起工

深松組（深松努代表取締役社長）が出資する特

別目的会社、Orn（同）

は24日、温泉棟を中核とする複合

ボーリング熊谷茂一社長が玉串を神前に捧げ、関係者一同が工事の安全を祈願した。

用する源泉の掘削工事着工に合わせ、関係者が安全と事業が円滑に進むよ

とする複合

祈願した。

施設「アク

事業場所は、名取川河口の約3・8ha。同社は、

アイグニス

東日本大震災の集団移転

仙台」開発

跡地に、食と癒しをテーマとした複合施設を建設

事業に伴い、

源泉掘削工

事の安全祈

願祭を仙台

市の藤塚地

区で開催し

た（写真）。

スなどを整備する。賑わ

施主の深松

東部地域の交流人口の拡大が期待されている。

社長と、施

工者の東北

祈願祭は、温泉棟に使

るが、着工を迎え設計、設備、運営の関係者の機

運も高まっている。同社事業では雇用を生み、ほかの活用事業者や沿岸

う祈願した。仙台rebornの構成企業、震災後に藤塚地区から移転した久保田東町内会の会長、県議会や市議会の議員らが出席した。

年8月に設立した。施設は2022年春オープンを目指す。
【深松社長のコメン



ト

開発事業は、深松組が仙台市の移転跡地利活用事業に選定され、市と立地協定を締結し、進めている。投資総額は約30億円。仙台rebornは、同社と三重県で総合リゾ

ート施設を運営するアクアイグニスが出資し、昨

たい。



祈願した。関係者が安全と事業が円滑に進むよ

アクアイグニスの温泉掘削が着工

安全祈願祭を開催

仙台born
b o r n

仙台born（深松努代表取締役）は24日、温泉や飲食店などからなる複合施設「（仮称）アクアイグニス仙台」の温泉掘削工事の安全祈願祭を現地で行った。関係者が多数出席し、工事の無事故・無災害を祈願した。

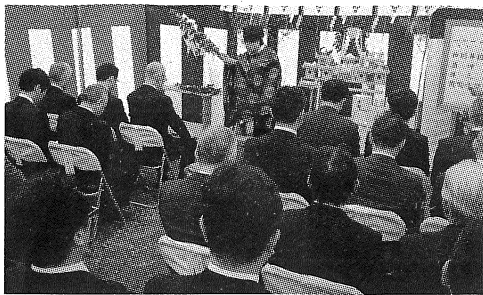
この計画は、三重県で複合温泉リゾート施設を展開するアクアイグニス（東京都中央区）などと共同で、

温泉や飲食店、マルシェなどを備えた複合施設を仙台市若林区藤塚地内に整備するもの。設計はARTS（三重県津市）で、施行は深松組が担当する。今回は施設の建設に先立ち、温泉の掘削作業を行う。掘削は東北ボーリングが実施。地下1000mまでのボーリングを予定しており、ことし8月ごろに温泉の結果が出る。

神事には26人が参加し、代表者がそれぞれ玉串を奉てんした。深松社長は「アクアイグニスには東日本大震災の際に燃料や食料を三重県から届けてもらうなどお世話になった経緯がある。藤塚の地に賑わいを取り戻すためにも、地元の方々の協力をもらいながら整備を進めたい。」と述べた上で「温泉施設の屋上は高さ15mになる予定で、災害時の避難場所にも活用で

きる。もう一度災害が起きた時の避難者の憩いの場にもなれば」と展望を語った。また、施工者を代表して東北ボーリングの熊谷茂一代表取締役社長は「われわれが長年培ってきた掘削技

術と最新の移動仕上げ技術を駆使し、施設を訪れる多くの方々の期待に沿えるよう全力で工事を行う。多くの人たちに愛される施設になることを願っている」と力を込めた。



害時の避難場所にも活用で